

『えひめ夢提案制度』 夢提案様式

提案主体名	提案主体分類コード	h 社団法人・財団法人
提案の公開の可否	公開	※「非公開部分有り」の場合は、下記に理由を具体的に記入。

要望事項(事項名)	松山空港内での展示会コンテストの開催の要望	制度の所管・関係 省庁
根拠法令等		プロジェクト 名 環境アート展示会・コンテスト(3R貝絵 アート・シーボーンアート)
提案分野	H 環境	

求める措置の具体的内容	<p>松山空港にこれまで3度ほど、空港ビル内で環境アートの展示会を開催させてほしいとの要望を伝えましたが、3度も空港内ではできない、イベント等の企画はないとのことで、こちらの企画を出す以前の問題として要望が門前払いとなってきました。来年度以降、コロナの収束後には、大きく経済状況が回復してくることが予測されます。これから来年に向けて、私たちの事業の発信が大きくできる空港内での展示会・コンテスト実施を可能にさせていただけるよう希望しております。</p>
-------------	--

具体的事業の実施内容・提案理由	<p>①当団体の環境アート事業は、過去5年の間に3回宇和島圏域の施設で展示会・コンテストを実施済。参加作品が県外に広がってきたので、愛媛発とし全国規模に発信したいので空港を希望。</p> <p>②宇和島圏域特産のヒオウギ貝の貝殻を中心とした海で拾った素材や海洋ゴミをアート作品として再生し展示する環境アートと地元の特産物であるヒオウギ貝殻を障害者施設に研磨委託し貝殻キャンパスとしてリユース。貝絵の展示会と合わせて環境問題パネル展示で発信する。環境問題について次世代・多世代にわたる県民の生涯学習、SDGs発信に活用。貝殻研磨は障害者の就労支援リハビリに繋がり、新しい仕事の創出となる。</p> <p>③県外のほとんどの人がヒオウギ貝を知らない。ヒオウギ貝の貝殻自体に需要がある。新しい地元産品の需要を開拓していく。全国どこも行っていない大変めずらしい展示会なので、集客力・発信力が高く、平日でも人が多く往来する空港での展示会は愛媛発の絶好の発信場所と考えている。</p> <p>④県外の他の空港にも展示スペースがあり受け入れ可能であるが、発信源の空港が愛媛発でなければ他県にこの事業をとられてしまう恐れがあるので、なんとか松山空港からスタートさせたい。</p> <p>⑤松山空港を初回の発信とできたら、その後は、北海道の千歳空港や仙台空港でホタテ貝との交換展示会に発展させて環境問題を発信していきたい。全国にある空港で順次展示会を行い全国規模を目指したい。</p> <p>⑥全国の各空港の周辺地域には少なからず絵画教室の事業所があり、各空港で展示会を行うときは、ヒオウギ貝の貝殻を送り作品参加をお願いすることが可能であり、地元空港に搬入・搬出してもらうことが可能となる。</p>
-----------------	--

提案が実現した場合に、補助制度「えひめの未来チャレンジ支援事業」を活用して実施したい事業の概要(※該当がある場合のみ記載)	
---	--

最終回答	<p>松山空港ターミナルビル内におけるイベント等の開催可否は、同施設の所有者であり、管理・運営する松山空港ビル株式会社が判断することとなります。同社に確認したところ、施設内での展示会の開催については、規定などから一律に禁止するものではなく、内容等を踏まえて個別に判断するとのことでした。</p> <p>松山空港は、中四国を有数の利用者数がありますが、利用者数に対して、施設が手狭でもあり、搭乗客の動線確保の観点などから、お断りした経緯があるものと推察されますが、改めて同社に御相談されてはいかがでしょうか。</p>
------	---

対応区分	D(その他)
------	--------